

だいじなことをわすれずに

いつでも

いっぱい

ちようせんしよう

学校だより

くすのき

合志市立西合志第一小学校

校長 村田典子



「卒業」と「進級」～次のステージへ

県内では、20日の卒業式が多く、報道でも紹介されていましたが、合志市は25日が卒業式。6年生は、本日修了式を執り行いました。6年間の教育課程が修了しました。

振り返れば、あっという間の1年でした。4月の始業式には、何せ私自身も新米校長でしたから、少し緊張しながら、80人の子どもたちを前に、スライドを使いながら「夢と挑戦する気持ちは大事」という話をしました。折に触れ、目標を持って頑張ることを伝え続けてきました。日々の授業や様々な行事等で、子どもたちは確実に力を付けてきました。

卒業式の練習の様子を見ると、4月の入学式の頃より、大きく成長した姿、特に自分たちが式をつくっていくという逞しさがありません。姿勢の維持もなかなか大変ですが、緊張感を

持って臨んでいます。素晴らしいです。この成長は、保護者の皆様、地域の方のご理解と温かいご支援があつてのことです。心より感謝申し上げます。

さて6年生の修了式では、本田那奈子さんが、児童代表発表で「中学校に入ったら、勉強と部活動の両立を頑張りたい」と語ってくれました。気持ちは、すでに中学校生活に向いているんだなあとしみじみ感じました。



私からは、これから新たな世界へ足を踏み入れる6年生に向けて、心の持ち方“マインドセット”の話をしました。物事にプラスの気持ちで向き合うのか、マイナスの気持ちで向き合うのか、考え方の癖“さらに“生き癖”につながるという内容です。ご存じの方もおられる「口」という漢字にまつわる話を引用しました。

「口」という漢字にプラス(+)を書き足すと、「叶う」になる。さらにマイナス(-)を足すと「吐く」になる。グチを吐く、捨て台詞を吐く、弱音を吐く…そんなときの人の表情は暗く、厳しい。そんな言葉ばかり口にしてしまうと、人が寄ってこない、マイナスの発想になってしまう。だから、プラスの言葉を探して、言葉にして、夢を叶えて欲しいということを伝えました。

互いを思いやり、そして下級生を思いやるすてきな6年生でした。寂しくなりますが、このバトンは5年生が確実に引き継いでくれています。

おわりに・・・



1年間大変お世話になりました。PTA広報「はな」No.6にも書きましたが、学校愛あふれる合生コミュニティ、本校PTAの皆様のご理解が本校教育活動の源であると強く強く感じています。

教育改革の大きな流れの中で、学校教育も様々な対応を求められていますが、第一小らしさを温めながら、新しい風も入れていく教育を創っていきたく思います。来年度もさらに飛躍するべく、取り組んでまいります。どうぞ、学校にたくさんの声を届けて下さい。よろしく願いいたします。

本日、来月(4月)行事を配布しております。ご確認ください。

小中連携のうまみ♪

先週末から、卒業式の練習を行い、本日が練習の最終日。卒業式参加デビューの1年生もとても頑張っています。

が、土日挟みますので、「ちゃん覚えとってね」という心境で見守っています。在校生参加は、5年生のみ、高学年のみの学校の方が多いのですが、全学年で参列して卒業生を送り出すのが本校の特色です。

式の見所(聞き所)の一つは、何と言っても合唱。少ない人数でも体育館いっぱいに響くように、子どもたちは一生懸命に声を出しています。特に6年生は10人の合唱ですし、当日は感極まって声が出づらくなれないかな…等々も懸念し、音楽専門のゲストティーチャーを招いて、専門的にご指導いただきました。ゲストティーチャーはお隣、西合志中学校の音楽担当の松山先生です。声楽が専門ということで、短時間で子どもたちの力がさらに引き出されました。小中連携のありがたさを改めて感じました。

